

League communication EHIME

【発行所】

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 吉田 昭枝

連盟通信 えびめ



＊ ご挨拶

会長 吉田 昭枝

愛媛県看護連盟会員のみなさま初めまして。新任会長の 吉田昭枝 と申します。どうぞよろしくお願いたします。

さて、平成26年6月に日本看護連盟通常総会が開催されました。その中で、平成26年度のスローガンとして「ベッドサイドから政治を変える！」～確かな政策力、強力な集票力を持つ組織をつくる～ が採択されました。みなさまご存知だとは思いますが大変重要なことですので、スローガンの提案趣旨を下記に再掲いたします。(一部抜粋)

(提案趣旨)

私たちは、常に、国民目線に立ち、社会・時代のニーズにあった看護の提供に取り組んでいます。

組織代表の国会議員がそろった今、国民が安心して暮らせる社会保障の実現を目指す専門職として、国会議員に現場の声を届け、国政の場で制度化、法制化する力を発揮するときです。

一方、国は、地域の実情に応じた医療・看護・介護の総合的な確保の為に、新たな財政支援策として都道府県に基金を設置し、従来の国の看護関係予算の大方は、都道府県が作成した計画に基づき、執行される方向に舵をとりました。今後は、都道府県における看護政策に対し、強い政治力が求められます。

したがって、都道府県における看護政策を実現させるには、各都道府県看護連盟は一層の組織強化に取り組み、都道府県看護協会や都道府県議員との連携を強化し、都道府県政に積極的に働きかける必要があります。

上記の趣旨説明の中で私が特に注視したいのは、下線の部分です。愛媛県における看護政策に対し強い政治力を持ち看護関係の予算を少しでも多く獲得するには、看護協会と強力なタッグを組むこと、国会議員・県会議員とのネットワークを構築することだと思います。医療・看護・介護の現場に精通していない議員に対して現況における課題を提供し、一緒になって地域住民に貢献することが連盟の役割だと思っています。

会長になって所信表明を役員会で行いました。組織運営にあたって、3Sで行きたいと思っています。

- | | | |
|-------------------|------------------------|----------------------------------|
| 1 ストロング
→ 強い組織 | 2 スピーディー
→ 機動力のある組織 | 3 スマート
→ こざっぱりとした、きびきびとした組織運営 |
|-------------------|------------------------|----------------------------------|

強い組織にするには、まずは、連盟会員を増やすことだと思います。平成26年10月末現在での会員数は、5,309名。今年度の目標は5,500名です。目標を達成し強い組織にするには、会員一人ひとりの努力が必要です。みなさま方の周囲にいる連盟未加入の看護職員に働きかけていただけますようお願いいたします。

おめでとうございます

塩崎 恭久 衆議院議員

厚生労働大臣

あべ 俊子 衆議院議員

農林水産副大臣

たかがい 恵美子 参議院議員

厚生労働大臣政務官



ご挨拶

副会長 政岡 千種

平成26年の愛媛県看護連盟通常総会で、図らずも副会長に選出された。平成17年のリフォーム連盟から本格的に連盟活動に参加し、当初は愛媛県幹事、19年からは中予第五支部長として活動している。若い頃から連盟会員ではあったが、会費を納めるだけの名ばかり会員で、選挙に行っていたかどうかさえあやふやな頼りない会員であった。従って本格的に連盟のことを知るのは17年以降で、今でも発展途上ではあるが、知れば知る程、連盟の大切さに気づくと共に、ここまでたゆまず努力して下さった諸先輩方の苦労を思い、何としても強い組織にしなければと、改めて決意を新たにしている。

看護協会に比べて連盟の知名度は低く、なかなか会員数も伸びないが、裾野を広げるのに若手の会が一役買ってくれている。新しい吉田会長の3S（ストロング・スピーディー・スマート）の精神を念頭に、ますます複雑化する社会にあって、これからもしっかり役割を果たせる看護職であり続けるために、微力ながら力を尽くしたいと思っている。

* * * * *

就任あいさつ

副会長 村上 かなえ

このたび、第二副会長という大役を仰せつかりました村上です。

私は現在、南予第三支部長を務めています。支部長と第二副会長の責務を果たすことができるか不安で、責任の重さをひしひしと感じています。

看護連盟の活動は、看護職の政治力強化・看護職組織代表の国政進出と支援に関する活動です。多くの看護職に「看護連盟」の活動を知っていただき、看護職の地位向上・労働条件の改善には看護職の代表を国政に送り続ける必要があること、「看護と政治」はどうしても切り離せないことを会員のみなさまに理解して頂けるよう、精一杯活動する覚悟であります。

みなさま、一緒に笑顔で楽しく連盟活動しましょう。私も微力ながら力を尽くしますので、どうかみなさま、お力をお貸しください。

ご協力のほどお願い申し上げます。

* * * * *

幹事長としての役割

幹事長 巻田 すみ子

幹事長になって3か月余りになりますが、幹事長としての役割が良く分からないまま、依頼された仕事をこなしている現状です。

看護連盟の目的は、看護協会の目的達成に必要な政治活動（国政に看護の代表を送ること）をすることです。そのためには、役員 → リーダー → 会員への『熱伝導』で、一人でも多くの会員・協力者が投票行動を起こし、私たちの代表が得票数を伸ばして当選できなければなりません。確実な1票に繋がる活動・組織作りが必要です。こんな当たり前のことを、幹事長になり改めて再確認しています。

- ① まず、『熱伝導』の中心の『熱』が十分か？
- ② 『伝導』する人、方法は十分か？
- ③ “どこへ”、“誰に” 伝導していくのか？

などを見守っていくのが幹事長の役割かなと考えています。

また、国会議員、地方議員との交流を深め、政治についての勉強もしていかなければと考えています。頼りない幹事長ですが、よろしく申し上げます。

日本看護連盟通常総会に参加して

西予市立野村病院 山本 静子

去る6月3日、東京プリンスホテルで開催された日本看護連盟通常総会および創立55周年記念式典に初めて出席させていただきました。今まで、看護連盟にはあまり興味も無く、連盟＝選挙という単純なイメージしか湧いてきませんでした。しかし、草間会長、野田議員の挨拶や、あべ俊子議員のユーモア溢れる中にも力強く人を引き寄せる魅力、たかがい議員の威風堂々とした態度、石田議員の優しさ込み上げる国政報告を拝聴し、マスコミの報道や機関誌などでは十分に知り得ることが出来なかった、議員さんたちの政治改革等に対する熱い使命感や想いを肌で感じ、看護連盟の目的や重要性、活動や成果がひしひしと伝わってきました。

これから私は、現場の意見を良く聞き、問題や要望を汲み取り、連盟活動を通して見える形で届けたいと思いました。そして、連盟活動の重要性を看護職員に伝え、理解を深めて一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

総会の終わりに、日本看護連盟の歌をみんなで歌いました。私の住んでいる西予市野村町出身で、私の母の友でもあった柴田キヨ子さんの作詞された曲です。彼女が作詞された曲を、全国の看護師さんが歌っていることに感激するとともに、誇らしくも思えました。意義深い総会に参加させていただいたことに心より感謝いたします。有難うございました。

愛媛県看護連盟通常総会に出席して

済生会今治病院 菅原 由紀



できました。しかし、伝える立場でありながら、まだまだ知識不足で伝えきれていないことを今回気づかされました。さらに、自分の住んでいる地域の現状を把握していないことや、もっと政治にも貪欲に情報を収集して、どんな法律が変わってきているのか、それをどう活かしていけば良いのかを考える機会となりました。そして、「もっと仲間を増やさなくては」と強く感じました。連盟会員が増えることにより、個人ではできないことも会員で力を合

わせればどんな社会変化にも対応していけるとおもいます。

看護職が未来の子どもたちの憧れる専門職であってほしいという願いと、人生の最期の時が安心して送れるように地域医療の充実を実現させたいと思いました。

今後も、会員の増員と看護職がどう変化していけば良いのか、今の自分たちは何をすれば良いのかを伝える活動をしていきたいと改めて感じました。

平成26年度愛媛県看護連盟通常総会に参加して、たかがい恵美子先生と石田まさひろ先生のお話を聴くことができました。たかがい先生にお会いするのは3年ぶり、トレードマークの青いスーツ姿は同性でも憧れるくらいすてきでした。たかがい先生の活動報告では看護職のために大変なご苦労と並々ならぬご活動をされており、困難な時にも前向きに立ち向かう凛とした姿に、とても感動を覚えました。

私は連盟活動を始めて6年目になります。愛媛県の連盟幹事として、「私たちの職場環境を改善するために自分たちの代表を国会へ……」と様々な場面で伝え



新規入会者研修に参加して

東予地区

リーガロイヤルホテル新居浜
参加者 102名

9/6[sat]
9:30~12:00

済生会西条病院 柴原 亜寿紗

今回、看護連盟新規入会者研修に参加させていただきました。今回が初めての参加で何をやる研修なのか、看護連盟とはどういう連盟なのか不安を抱きながら参加しました。



始めに先輩看護師より看護連盟についての話をしていただき、看護連盟とは看護師がより良い看護を提供するために、働く中で改善できたら良いと思うことなど話し合い、看護制度や労働条件の改善のために政治活動を推進することであることを理解で

きました。

研修内容にあったグループワークでは、他の病院で働いている同期の人たちと交流しながら、働く上で改善してほしいことをまとめて発表し共有しました。話し合う中で、お互いの話をし、悩みや不安を共有することで日頃のストレスをリフレッシュすることができたと思います。さまざまな悩みや不安、改善できたら良いと思うことはたくさんありましたが、みんな看護師として頑張っているのだと思うと自然と自分も頑張ろうと思うことができました。

このような研修に参加させていただき、よい刺激をもらうことができ良かったです。これからより良い看護が提供できるよう活動に参加したいと思います。



中予地区

河原医療大学校
参加者 92名

9/20[sat]
14:00~16:00

中予第3支部・松山ペテル病院 土居 良美

私は今回の研修に参加させて頂くことで、看護連盟や若手の会についてよく知ることができました。



看護連盟は、看護職の地位向上や環境改善のため看護協会の提言する看護政策の実現を図る目的で、政界に代表を送る活動や、看護の質を高めるための研修を行うなど看護協会と共同して活動していることが分かりました。また若手の会メンバーの自己紹介では、まだ発展途上にあつて大変といった反面、いろいろな病院で働く看護師が集まり話し合う

機会の場となることも分かり興味を持ちました。

今回の研修では、各グループが政党名を名乗りマニフェストを掲げて投票を行うといった選挙の模擬体験も行われました。どのグループも給料や職場環境についての希望などが列挙されており、聞いてとても共感でき、時には笑いながら話を聞くことができました。この政党なら投票すれば働きやすくなるかもと、期待を持って投票することができました。医療政策や政治に興味を持つ場を作ることも一つの取り組みであり、選挙の模擬体験を含めた今回の研修はとても有意義でした。政治への関心をもっと持たなくてはならないと改めて思いました。

より良い看護・質の高い看護を提供するために必要なことを常に考え日々看護を行い、それが職場から看護連盟を経て政治へとつながれば良いと、研修会を通して感じました。



新規入会者研修に参加して

南予地区

宇和島国際ホテル
参加者 44名

9/27[sat]
10:00~12:30

市立宇和島病院 久川 茜

愛媛県看護連盟に入会して初めて、看護連盟新規入会者研修に参加しました。研修の内容は分かりやす



く、看護連盟について理解することができました。また、若手の会の方が〇×ゲームを開催してくださったり、お弁当を食べながら職場での仕事について話をし、お互いの職場環境などを知ることができたりと有意義な時間を過ごすことができました。

研修の中で印象的だったのは、職種別の国会議員数の割合です。割合的に医師から国会議員になられ

ている方が看護師の約39倍と多いことに驚きました。それぞれの職種の労働環境を改善するには看護職の国会議員数を増やし、政策の見直しをしていく必要があります。今後看護師の国会議員がさらに増え、私たちの職場が働きやすくなればいいなと思いました。



また、グループワークでは「こんな職場だったらいいのになあ」というテーマで理想の職場像を話し合い、マニフェストとして発表しました。仕事量、休日などについて様々な意見が出されましたが、私たちの意見一つ一つを実現するためには、現場の声が政治の場へと届くことが大切だということが分かりました。そのために私がいまできることとして、今までは敷居が高いと思っていた選挙に積極的に参加していこうと思いました。

今回の研修で自分たちのためにも連盟活動に関心を持ち、連盟会員の一人として活動していきたいと思

中国・四国ブロックポリナビワークショップin岡山に参加して

道後温泉病院 篠浦 由樹

今回初開催となる中国・四国ブロックポリナビワークショップin岡山が、10月4日(土)「ピュアリティまきび」で行われた。「ナインナースサミット」と題した、総参加者200名を超える中四国9県合同の大規模な会である。内容は各県が試行錯誤をした県ブースの設置、「今の職場環境を変えるために～ブロックで声を上げよう。現場の声～」と題したワークショップ、そして講師に衆議院議員の阿部俊子先生をお招きし「私が政治家を目指した理由」について特別講演が行われた。



各県のブースは、各地の特産品、展示物、そして看護連盟の歴史や取り組みについて参加者が楽しめるよう設置をしていた。愛媛県は、ポンジュースの試飲と坊っちゃん団子の試食コーナーを設置し、県の特産品と若手の会の活動内容を記載したポスター掲示をした。「行ってみたい県ランキング」

では9県中3位。参加者の心をつかむことに成功した。

阿部俊子先生の特別講演は「こんにちは!!」というパワーに満ち溢れた挨拶から始まった。「理由は一つのきっかけに過ぎない。変えたいという気持ちがあればいつかは変えられる。それがたとえ個人でも。問題は何が出来るか考え、それについてどう行動を起こすかどうか。」今でもパワフルな声と内容が心に残っている。

実行委員の一人としては不安と緊張の中での幕開けだったが、終わってみればそんな思いを一掃する大盛況の中終了した。それは参加者の積極的な姿、実行委員全員の努力、そして何より開催県である岡山県の青年部と役員の方々の努力がそうさせたのだろうと思う。この会を一度で終わらすことは勿体ないと痛感した。次回につなげることが出来るように僕らも一層の努力が必要だ。



ちよっといい話

朝のミーティングは “ゆうの森”が 最も大切にしている時間です

医療法人ゆうの森 訪問看護ステーションコスモス
所 長 一井美哉子



全体ミーティングスタート

ゆうの森の朝は、全職員による朝の元気な挨拶から始まります。

朝8時30分。「おはようございます！今日もたくさんのお客様、ご家族のみなさまが私たちの訪問を楽しみに待っています。今日も一日、笑顔で！宜しく



白熱ミーティング

お願いします」の、元気な声がフロアに響き渡り、全国から見学にくる方々も驚かれます。その後、松山から70km離れたたんぼぼ依津診療所ともWEBをつないでのミーティングが始まります。

ミーティングルームの前方スクリーンにグループウェアの掲示板が映し出されて、それを見ながら利用者様の申し送りや相談事、業務連絡などが行われます。職員が顔を合わせて行うこのミーティングの最大の効果は、治療方針の統一です。「多職種での情報共有と方針の統一が在宅医療連携の鍵！」なのです。

2006年4月開設の訪問看護ステーションコスモスは、このような環境の中で18名の看護師が利用者様・ご家族のみなさまや仲間たちの笑顔を原動力に活動しています。

看護連盟の

キャラクター決定!!

看護連盟のマスコットキャラクターが看護連盟の宣伝とイメージアップのためにできました。「カンタくん」と「レンコちゃん」です！これからよろしくお願ひします。



レンコちゃん



カンタくん

支部長交代

支部名	新支部長	旧支部長	
中予第四支部	坂本 謙二	巻田 すみ子	7月1日～

編集後記

今年は、広島のと砂災害や御嶽山の噴火等による大きな災害が起きました。被災者のみなさまには心よりお見舞い申し上げます。

連盟活動を通じて、情熱を活かせる若いメンバーのみなさんの幅広いご意見をお待ちしています。

* 広報委員と担当役員の交代がありました。大河(委員長)、池田、濱崎・宇都宮(新)、西村 [新担当役員] 泉、松本、坂本